

手書き第2問

では、どうして私が会社員をやめて世界一周をしたかというお話からさせていただきます。私が広告代理店に入った理由なんてすけれども、小さい頃から、たくさんの人を楽しませたりとか、幸せにするようなことがすごく好きでした。自分でもちょっと得意かなと思っていたこともあったので、広告代理店に入りました。本当に、すごく楽しい仕事もたくさんあったんですけども、夜遅くまでずっと働かないといけなかったりですとか、やりたくないような仕事もたくさんあって、果たして今の自分は、入社当初に考えていたことってできているのかなと疑問に思えてきました。

そんな中で、あるニュースが私の耳に入りました。それは、幸福度ランキングというものでした。幸福度ランキング1位の国というのが発表されていて、フィンランドでした。私は思いました。フィンランドか。どうして幸せなんだろう。どうして1位なんだろうなというふうに思いました。私がそのころ、仕事において、いろいろな人を幸せにしたいという思いがある中で、このニュースを聞いたのはすごく衝撃的で、どうしたら人を幸せにすることができるんだろう。この国に何かヒントがあるんじゃないかなと思って、行ってみようと思いました。そこで、フィンランドのたくさんの人に、どうして幸せなんですかと、ほんとにいろんな人に質問してまわりました。すごくいろんな答えがあって、これっていう特定した答えは見つからなかったんですけども、1つ驚いたことがありまして、全員が口をそろえて、この国の教育は良いと言いました。そこで、私は教育と幸せが結びつかなかったんですけども、初めて意識を向けるきっかけになりました。

その後、なかなか会社をやめるというのは怖いという思いもあったので、会社員生活を続けていたんですけども、その5年後に、ようやく会社をやめようと思えました。

会社をやめるとなると、次に何をすることが特にその頃は決まっていなかったんですけども、せっかくだとたくさん時間が手に入る。自由な時間が手に入りますので、好きなことをしようと思いました。いろいろ考えた結果、世界のことが好きだったので、もう世界一周をしてみようと思えました。ただ、世界一周も行くだけだともったいないなと思ったので、何かテーマを持っていこうと思えました。そこで、いろいろ考えて出てきたのが過去に行ったフィンランドのことで、旅の続きをしよう、幸せと言われる国を巡って、幸せのために大事なことを探求する旅をしてみようと思えました。

そうなってくると、じゃあ幸福度の高い国ってどういう国があるのかなってなりますよね。そこで私はインターネットを調べ始めました。するとですね、驚いたことに結構いくつかの幸福度ランキングがありまして、いくつかある中でも自分の興味のある2つをピックアップしました。1つめの幸福度ランキングは国連が出しているもので、もう1つ、2つめのランキングはスイスの調査機関ギャロップ&ウィーンという機関が出している幸福度ランキングです。簡単にこの2つを説明していきます。

国連の幸福度ランキングは、一番、皆さんがよく知っているものだと思います。結構、有名なものです。2019年、世界一周をした年のランキングの1位はフィンランド、2位がデンマーク、3位がノルウェー。

アイスランド、オランダ、スイス、スウェーデン、ニュージーランド、カナダみたいな形で、ほとんど上位が北欧とかヨーロッパ、あと皆さんがなんとなく想像につくと思いますが、ニュージーランドとかカナダとかオーストラリアとかが上位のランキングになってます。

この頃、日本は全部で 159 か国ある中で 58 位です。今もこれぐらいの順位を行ったり来たりしているんですが、先進国という国においては低い方だと言われています。